

## 地域の耳より情報

認可保育所(私立保育園)が新たに開設されます!

住所	施設名(仮称)	定員(予定)	開設予定日
江古田3丁目14	にじいろ保育園江古田	0~5歳(80名)	2018年11月
沼袋2丁目28	グローバルキッズ沼袋園	0~5歳(70名)	2019年4月
中野5丁目4-7	中野ここわ保育園	0~5歳(59名)	2019年4月
野方6丁目38	こどもヶ丘保育園野方園	0~5歳(71名)	2019年4月
松ヶ丘1丁目26	中野松ヶ丘すきっぷ保育園	0~5歳(70名)	2019年4月
上高田2丁目9-2	ちやいれつく上高田保育園	0~5歳(60名)	2019年6月
江古田1丁目43-5	テンドーラビング保育園	0~5歳(60名)	2020年4月
新井3丁目35-21	キッズフォレ平和の森	0~5歳(60名)	2020年4月

## 認定こども園(中野区で3施設目)が新たに開設されます

住所	施設名(仮称)	定員(予定)	開設予定日
野方1丁目10	なかのこども園 1号	3~5歳(54名)	2019年4月
	なかのこども園 2号・3号	0~5歳(82名)	



### 区民相談件数

2018年8月~2018年11月  
…107件 累計1,762件  
(2011年5月初当選時より累計)

こうだ!と決めたら まっしぐら! 笑顔輝く中野のまちに!

### profile

●1970年3月6日生まれ ●中野区立新井小学校、中野区立第五中学校、都立鷺宮高校を経て創価女子短期大学卒 ●明治安田生命保険相互会社事務職として約21年勤務し、2011年に中野区議会議員初当選。現在2期 ●建設委員長、厚生委員会副委員長などを歴任。現在、区監査委員、厚生委員、少子高齢化対策調査特別委員 ●防災士 ●上高田二丁目町会相談役



ホームページ  
http://kodayuriko.com/



ブログ  
http://kodayuriko.com/blog/



facebook  
※ネット検索は…甲田ゆり子



LINE  
※ID検索は…@xjs4516d



twitter  
@kodayuriko

公明党控室…TEL.03-3228-8875  
FAX.03-3389-8680

甲田  
ゆり子  
連絡先



# こうだ 甲田ゆり子 NEWS

公明党 VOL.025 ■発行元:公明党議員団 ■2019年 新春号

こうだ!と決めたら まっしぐら!  
笑顔輝く中野のまちに!

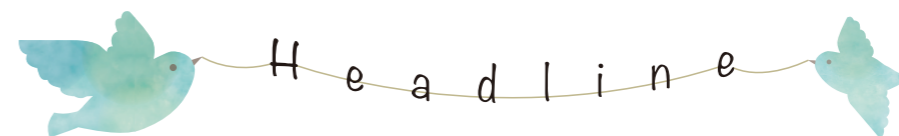
## ご挨拶

日頃よりあたたかいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

先の区議会第4回定例会では、公明党が新区政に是々非々の立場で、また、キャスティングボートの役割を発揮して中野区の方角性を質しました。その主なものをご報告いたします。

甲田ゆり子は、これまで1,800件ほどの区民相談をお受けし、そのお声を政策に活かしてきました。本年も、ひとりの声を大切に、子どもから高齢の方まで「だれもが笑顔輝く中野のまち」をめざし、全力で働いてまいります!

甲田ゆり子



- 1 甲田ゆり子一般質問
- 2 知的障害者生活寮・障害者(児)緊急一時保護事業廃止にNO!
- 3 議員定数削減条例案を公明党が提出
- 4 旧中野刑務所正門の保存
- 5 (仮称)中野区住宅確保要配慮者支援の創設
- 6 選択的夫婦別姓(別氏)制度の法制化を求める意見書を採択

## 1 12月3日 甲田ゆり子は一般質問にたちました

### 1.「孤育て」に対するあたたかな支援について

- 一時保育事業の拡充と多子世帯支援の拡充を求めました

### 2.生まれ変わる新たな児童館について

- 地域の子育て拠点の核として格段のサービス向上をし、大きく生まれ変わる児童館を作るべきと訴えました

### 3.平和の森公園の犬の広場と動物愛護推進について

- 中野区唯一の犬の広場が再整備されたが、ソフト面でさらに利用しやすく苦情を無くすように、また、広場を利用した動物愛護イベント等の開催を提案しました



### 4.西武新宿線沿線まちづくりの推進について

- まちづくりにあたり、生活者の声・女性の視点を入れるため、生の声が聴ける仕組みを検討するよう求めました

### 5.防災・減災対策について

- 聞こえにくい防災行政無線の改善策を提案しました
- 木造住宅密集地域の不燃化・耐震化(建て替え)の促進、ブロック塀の除却、家具の転倒防止策の支援を大きく拡充するよう求めました

### 6.就労支援について

- 女性・若者の再就職支援、生活困窮者の就職後の定着支援を求めました

## 2 「やよい荘・やまと荘」廃止の条例案を否決しました

「やよい荘・やまと荘(知的障害者生活寮・在宅障害者(児)緊急一時保護事業)は3月末をもって廃止とする」という議案は、公明・自民が反対のため、賛成少数で否決となりました。(共産・立民は賛成しました)

廃止とする最大の理由は、指定管理契約の更新にあたり、受託事業者がみつからなかったから、とのこと。議会に報告されたのは10月9日、利用者に周知説明がなされたのは10月31日(廃止予定の5か月前)でした。



これまで代替案も示さずにいきなり事業廃止ということはなかった為、これは認められません。

障がいのある方やご家族は、親亡きあとのことなど、不安の中で日々過ごされています。

今回の区への対応には驚き悲しんでいます。

私たち公明党としては、「事業廃止を決める前に受け皿や改善策を示すべきである」とし、今後、対話を旨とする新区長が、当事者の声をよく聴くよう求め、議案に反対しました。

今後、さらなる障がい者施策の充実を求めてまいります。

## 3 公明党から議会改革!区議の定数を削減する条例案を提出しました



▲議員定数削減案の採決が行われ、賛成の立場を表明するため、起立する公明党区議団ら(中央)=2018年12月14日 区議会本会議

- これまで議会運営改善検討会で議論・調査を積み重ねてきた
- 人口規模、財政規模等から勘案し、現行42名から40名へ削減が妥当
- 中野区の議員一人あたりの人口は、約7,800名(23区平均が約9,700名)
- 中野区の財政規模は、14位くらい(23区平均からみて中下)
- 人口30万人前後の全国37市区のうち定数もっとも多いのが中野区(42)である
- 近年の実質の議員数は40名もしくは41名(辞職した議員がいたため)であるが、議会として役割が果たせていないわけではない

との理由から、議員定数削減を提案しましたが、採決の結果 共産、立民などの反対で否決されました。

今後も公明党は「身を切る改革」の先頭に立ちまいります。

## 4 「旧中野刑務所正門」保存の方向性が報告されました

法務省跡地に現存している旧中野刑務所門については、平和の森小学校移転予定地(2023年4月開設予定)であることから、「現地保存」か「移築保存」、または「解体」など様々な議論がありました。門の文化的な価値としては、東京都の文化財登録ができる可能性が高いこと、耐震性には問題がないこと、移築するには桁違いの経費がかかるうえ、都の文化財登録の可能性は低くなることなどが9月に報告されていました。

そして区は、昨年12月7日の厚生委員会で「現地保存をする」との方向性を示しました。

公明党としては、「これ以上学校の移転・新築開設スケジュールを遅らせてはならないこと」、「学校環境に影響を与えないようにすること」を求めてきました。しかし、単にこのまま現地保存した場合には、学校敷地が通常よりも歪で当初より狭くなってしまうことから、懸念を示してきました。

その結果、区はさまざま検討し、予定地西側の「まちづくり用地(1,890㎡)」を学校が使用できるようにし、事実上、敷地が広がることになるため門を現地保存したい旨の報告をしました。



▲平和の森小学校移転予定敷地(法務省跡地)第4回定例会の委員会資料より

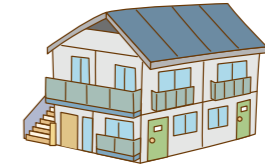
甲田ゆり子は、厚生委員会の質疑にて、「敷地が広がることを学校関係者によく説明し理解していただくこと、また、最終的に教育機関への押し付けにならないよう、門が学校敷地外となるようにすること」を求めました。(ある1名の元PTAの方からは現地保存をしないよう求める陳情が議会に出されましたが、12月10日の子ども文教委員会での審査の結果、この主旨については賛成少数で否決されました。)

法務省矯正管区の立川への移転が遅れたことにより、当初の予定から大幅に待つことを余儀なくされていた平和の森小学校は、今後、中野区で最高に環境の良い学校へと一日も早く前進できるよう、力を尽くしてまいります。

## 5 単身高齢者や障がい者の住み替え支援制度が新たに始まります(仮称)中野区住宅確保要配慮者支援制度

民間賃貸住宅の入居希望者がパッケージサービス(見守りサービスや葬儀費用、残存家財片付け及び現状回復にかかる補償サービスなど)を利用することにより、大家さんの不安を解消し、単身高齢者などの入居を促進支援する制度が新たに始まります。

区は、利用者がサービスに加入する際に要する費用の一部を補助するとともに、賃貸住宅オーナーや不動産事業者への制度周知を推進します。(詳細は1月中旬頃決定し周知されます。)

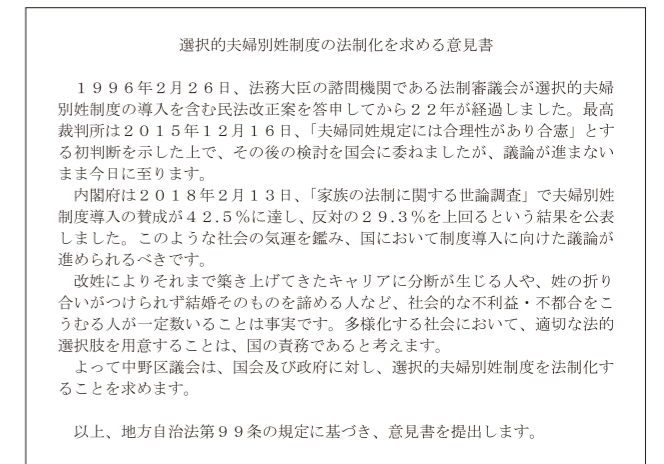


公明党が推進してきました!  
甲田ゆり子も2015年9月(平成27年第3回定例会)の一般質問で、「見守りサービスをパッケージとした独居高齢者の住み替え支援制度の創設」を提案していました。

## 6 選択的夫婦別姓(別氏)制度の法制化を求める意見書を採択しました

第3回定例会で、「選択的夫婦別姓(別氏)制度の法制化を求める意見書の提出に関する陳情」が議会で議論され「継続審査」となっていましたが、第4回定例会の総務委員会で再度議論の末、賛成多数で採択されました。よって中野区議会として国へ意見書を提出することができました。

甲田ゆり子は、公明党のネットワークで支援をしてきました。都内では中野区を皮切りに、今後、各自治体から国に法制化を求める意見書を提出する動きが始まっています。



▲中野区議会が賛成多数で採択した意見書